

第 1 6 7 0 回島根県教育委員会会議 議題書

令和 8 年 1 月 22 日 (木)
日 時
13 時 30 分～

第 1 6 7 0 回教育委員会会議議題

期日 令和 8 年 1 月 22 日 (木)

議 題	
— 公 開 —	
(議決事項)	
第32号 島根県指定文化財の指定について (文化財課)	———— 3
(報告事項)	
第61号 令和 7 年度「教職員の働き方改革プラン」の進捗状況 (ワーク・ライフ・バランスに係る意識調査、年次有給休暇取得状況) について (学校企画課)	———— 9
第62号 令和 8 年度島根県公立高等学校入学者選抜における特色選抜の出願状況について (学校教育課)	———— 18
第63号 令和 8 年 3 月高校卒業予定者の就職内定状況 (12月末) について (学校教育課)	———— 23
第64号 社会教育関係文部科学大臣表彰について (社会教育課)	———— 24
第65号 島根県文化財保護審議会委員の任命について (文化財課)	———— 27

島根県指定文化財の指定について

1 趣旨

島根県文化財保護条例（昭和30年島根県条例第6号）第4条第1項の規定に基づき、以下の文化財を島根県指定文化財に指定することを、島根県教育委員会会議に付議する。

2 内容

島根県指定有形文化財の指定

名称及び員数 もくぞうしんぞう 木造神像 く 4 軀

3 指定理由

令和8年1月19日に開催された島根県文化財保護審議会において、当該文化財を島根県指定文化財に指定することが適当であるとの答申を受けたため。

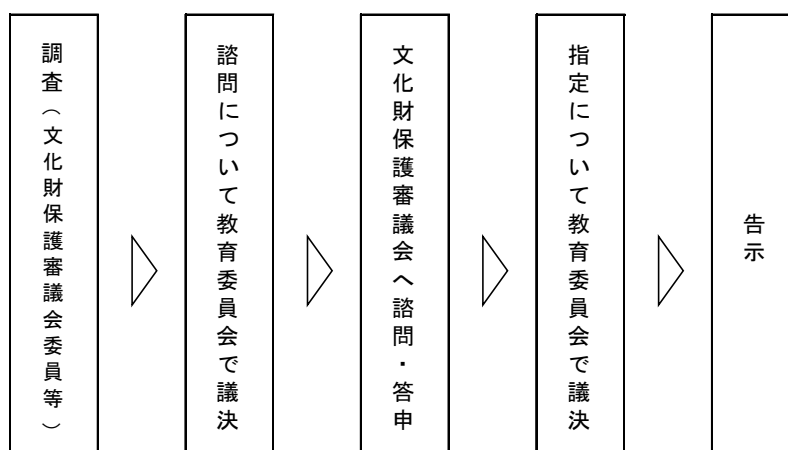
（参考）島根県文化財保護条例（昭和30年島根県条例第6号）の関係条項抜粋

第4条 教育委員会は、県の区域内に存する有形文化財（法第27条第1項の規定により重要文化財に指定されたものを除く。以下同じ。）のうち県にとって重要なものを県指定有形文化財に指定することができる。

（中略）

3 第1項の規定による指定をするには、教育委員会は、あらかじめ、別に定める島根県文化財保護審議会（以下「県文化財保護審議会」という。）に諮問しなければならない。

島根県指定文化財の指定の流れ



島 文 審 第 1 号

令和8年1月19日

島根県教育委員会 様

島根県文化財保護審議会会長



島根県指定文化財の指定について（答申）

令和8年1月19日付け島教文財第683号で諮問のあったこのことについて、島根県文化財保護審議会の審議の結果、島根県文化財保護審議会条例第2条（昭和50年12月24日島根県条例第58号）に基づき、下記のとおり答申します。

1 有形文化財（彫刻）の指定

(1) 名称及び員数

木造神像 4 軀

(2) 答申内容

島根県指定有形文化財に指定する価値があるものと認めます

島根県指定文化財の指定について

1 種 別 有形文化財（彫刻）

2 名称・員数

もくぞうしんぞう 木造神像	く 4 軀	
もくぞうだんしんぞう 木造男神坐像	その 1	1 軀
もくぞうだんしんぞう 木造男神坐像	その 2	1 軀
もくぞうじょしんぞう 木造女神坐像		1 軀
もくぞうそうぎょうしんぞう 木造僧形神坐像		1 軀

3 所在地 益田市久城町 963 番地

4 所有者 宗教法人 櫛代賀姫神社（代表役員 田中勝治）

5 時 代 平安時代 11 世紀後半から 12 世紀前半

6 概 要

櫛代賀姫神社は奈良時代の創建と伝わり、平安期に現在地へ移転建立したと伝えられるが、平安期以前の詳細な歴史は不明である。現在の同社は、当地の中世文書に出る「浜八幡宮」に由来することが確認されている。

木造僧形神坐像を除く 3 軀は、長らく櫛代賀姫神社に安置されてきたとみられ、また木造僧形神坐像は、益田市にかつて存在した勝達寺しょうたつじの旧蔵であったとの伝承もあるが、いずれも確たる伝来については未詳である。なお、勝達寺は、浜八幡宮（櫛代賀姫神社）の別当寺であった真如坊しんにょぼうの本寺であり、同社とは近い関係にあったと考えられる寺院である。

4 軀いずれも、制作年代は、その表現から 11 世紀後半から 12 世紀前半の間の作と考えられる。これらは、雄大な像容、水準の高い作行き、良好な保存状態といった点で、同時期の中央作例と遜色ないものである。

7 指定の理由

神像は仏像に比べると知られている数は少なく、県においても国・県に指定されている作品はあわせて 5 件（41 軀）にすぎない（うち清水寺所蔵の 1 件は仏教の守護尊である）。元来、神々は姿を持たず様々な依代よりしろに宿ると考えられたが、平安時代に神仏習合が進む中で仏像と同様に造形されるようになったと考えられている。しかし神像は御神体として秘される場合が多く、仏像に比べるとその調査は遅れている。

櫛代賀姫神社の神像 4 軀はいずれも撫肩で膝の奥行は浅く、衣服は簡潔に処理されていて、同時同工による一連の作品とみなされる。平安時代後期の特徴であ

る温和な作風をよく示していて、彩色の一部が残るなど保存状態も良好である。伝来については不明の点もあるが、明治初期以降、4 軀揃って現在地に鎮座してきた。なかでも格別に威厳ある尊容を示す男神坐像 その1については、面部のみに漆箔しつぱくを用いるという珍しい姿で、全国でも確認例が少ないものである。このように、本神像群は、平安時代後期の特徴を備えた優品であることから島根県指定して保護することが適当である。

8 調査者

島根県文化財保護審議会 中田利枝子委員

(令和3年8月4日および令和4年1月13日調査実施)

(参考文献)

濱田恒志・田鶴寿弥子・杉山淳司「島根県内に遺る木彫仏像・神像の樹種調査(2)」『古代文化研究』第33号、2025年

濱田恒志・中司健一「益田市・櫛代賀姫神社の神像について」『古代文化研究』31号、2023年
的野克之「櫛代賀姫神社の僧形像について」『博物館ニュース』32、島根県立博物館、1983年

① 木造男神坐像 その1 (像高：76.5cm)



正面



右側面



背面

② 木造男神坐像 その2 (像高：66.9cm)



正面



右側面



背面

③ 木造女神坐像 (像高：61.5cm)



正面



右側面



背面

④ 木造僧形神坐像 (像高：63.5cm)



正面



右側面



背面

報告第61号
学校企画課

令和7年度「教職員の働き方改革プラン」の進捗状況（ワーク・ライフ・バランスに係る意識調査、年次有給休暇取得状況）について

I ワーク・ライフ・バランスに係る意識調査

1 調査の概要

(1) 目的

教職員の働き方改革における効果的な方策立案等に資するため

(2) 対象校

令和5、6年度に調査を実施した市町村立小学校20校及び中学校10校、県立高等学校6校及び特別支援学校2校の計38校（抽出）

(3) 対象者・回答数（単位：人）

総回答数844（※ 常勤かつ本務職員に限る。）

[職種別有効回答数]

校長	副校長 ・教頭	主幹 教諭	教諭 ・講師	養護 教諭 (含助)	栄養 教諭 ・学校 栄養士	事務リーダー ・事務主幹 ・主任・主事	寄宿舎 指導員 (主任・ 期付)	実習 助手 (主任・ 期付)	計
31	40	11	650	38	4	37	19	14	844

(4) 主な調査内容

- ・ ワーク・ライフ・バランスに係る意識
- ・ 学校での働き方改革の取組状況
- ・ 教職員の仕事のやりがい

(5) 調査方法

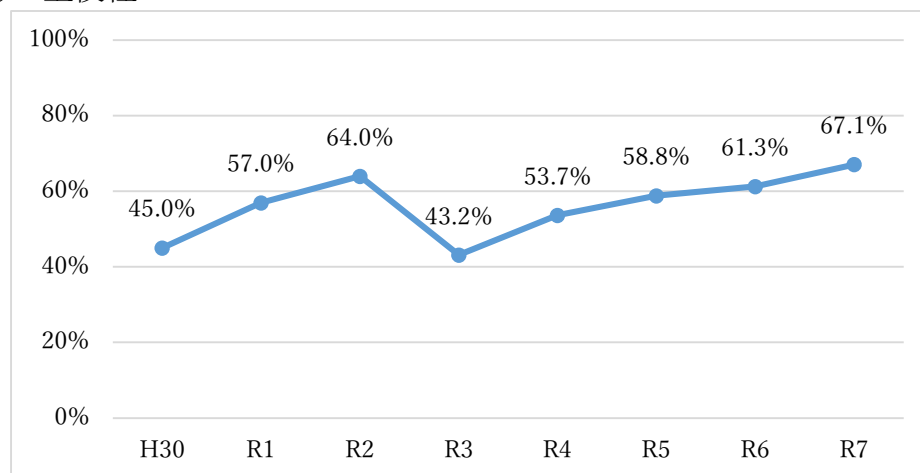
令和7年9月から11月までの間、各対象校で任意に定めた1週間における上記(4)の実態を、教職員が個別に、しまね電子申請サービスで回答する形式

2 今年度のワーク・ライフ・バランスに係る意識

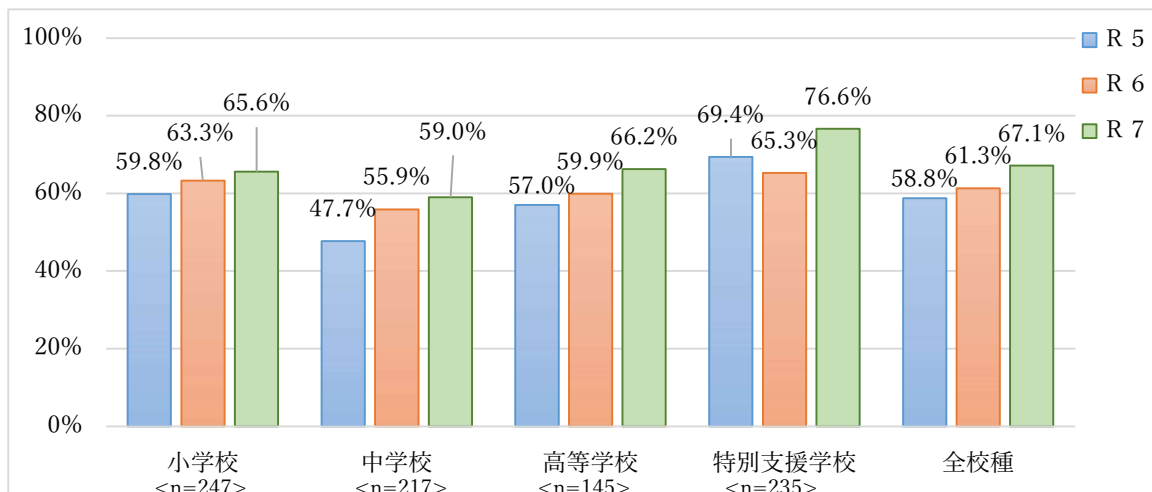
(1) ワーク・ライフ・バランスの肯定的回答※の割合

※ 「肯定的回答」とは、ワーク・ライフ・バランスが「取れている」又は「どちらかという」と取れている」とした回答

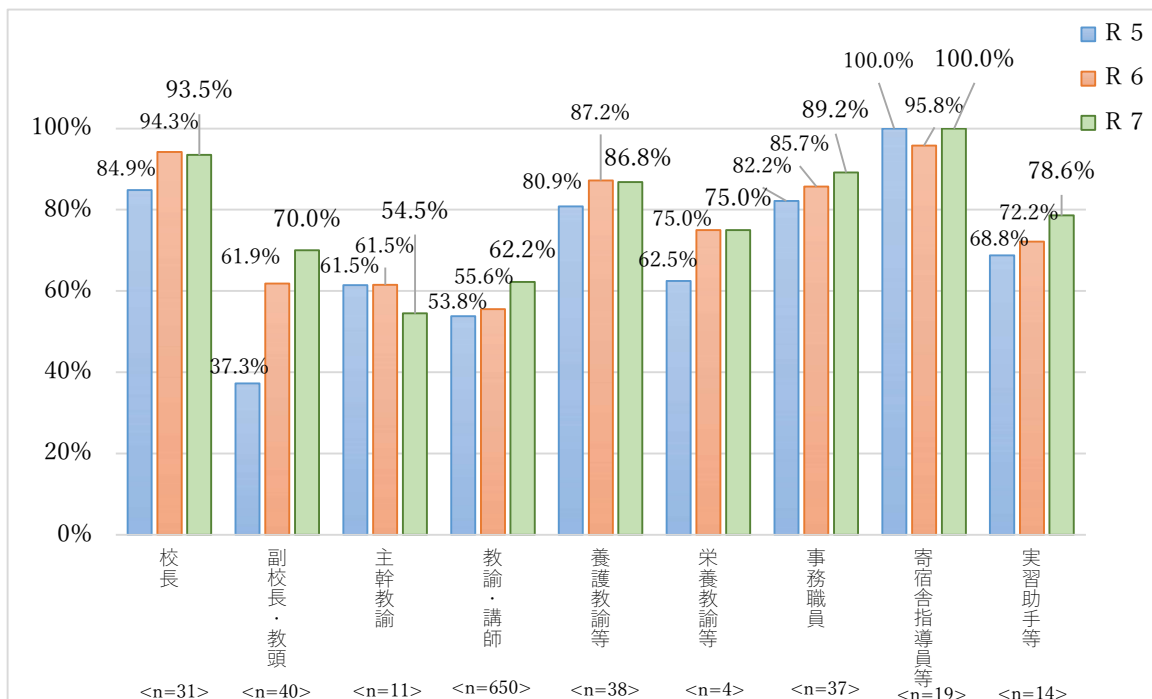
① 全校種



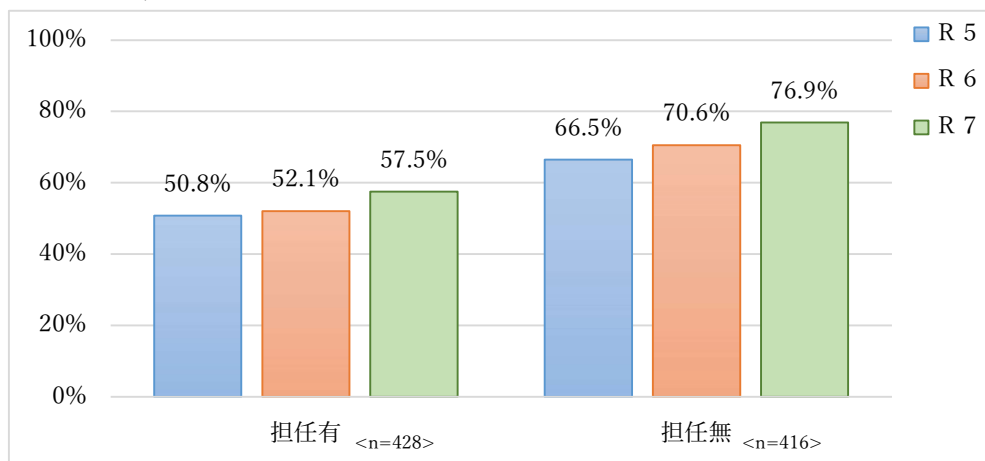
② 校種別



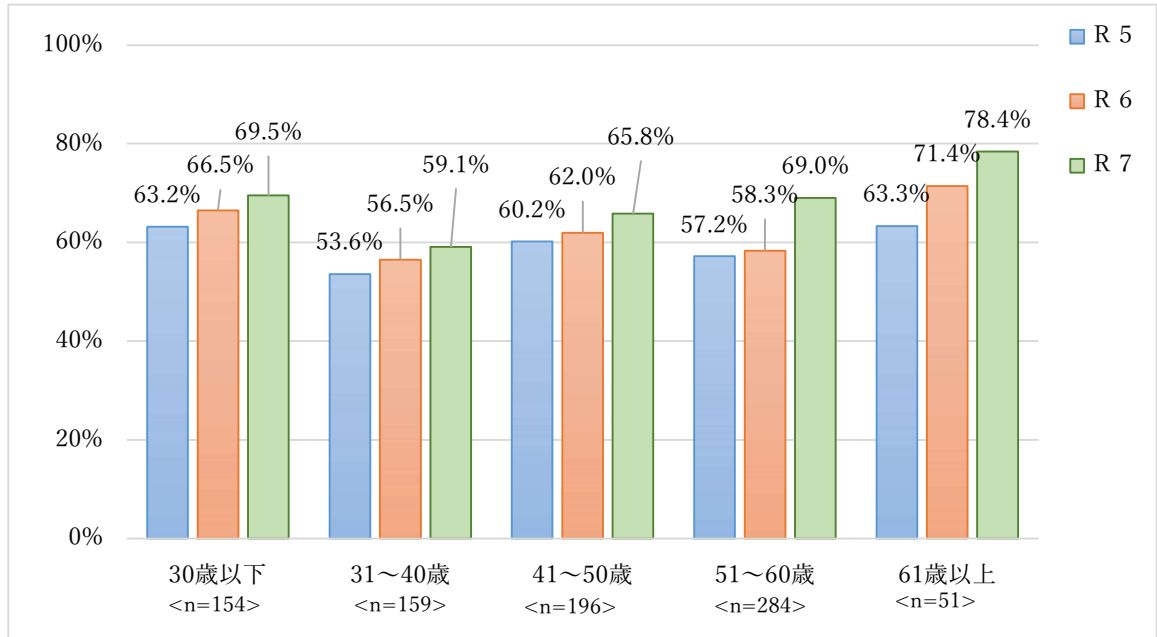
③ 職別



④ 学級担任有無別



⑤ 年代別



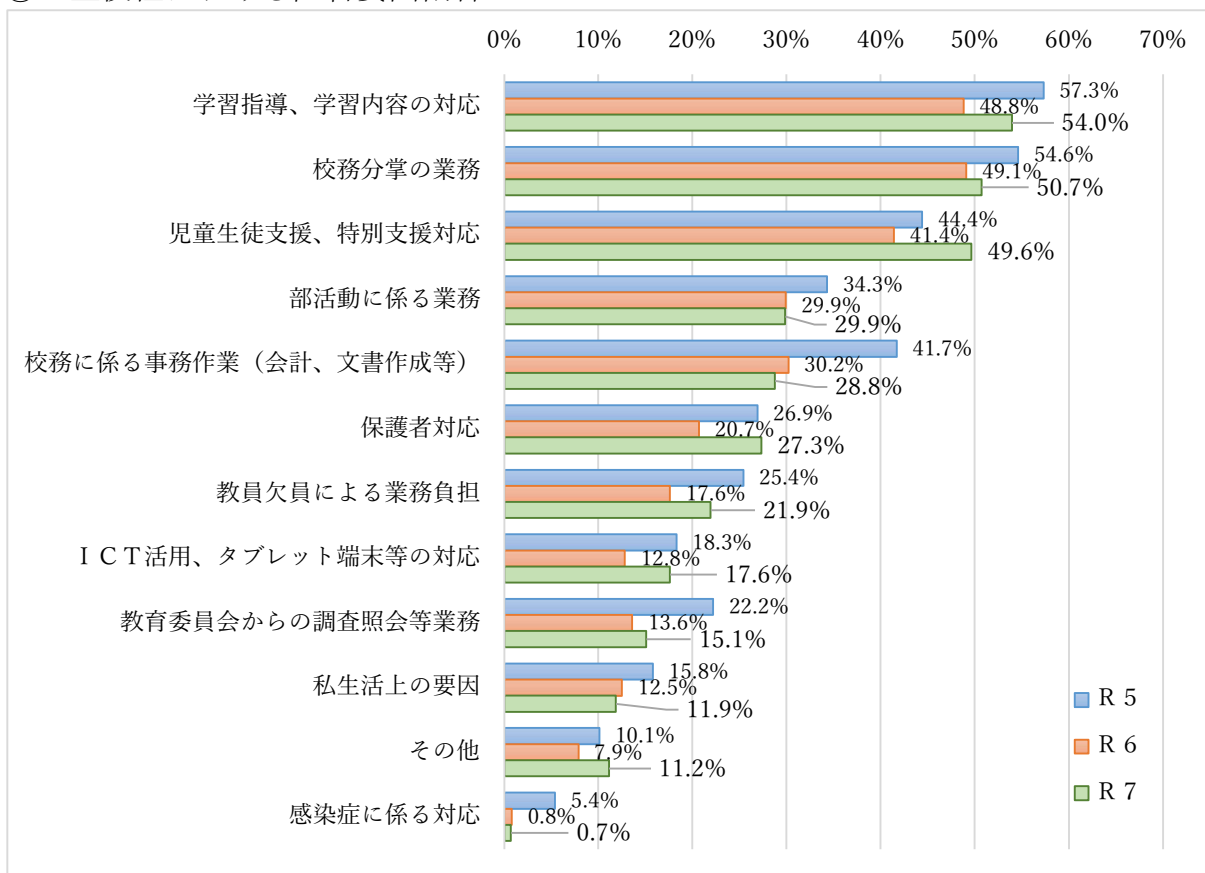
(2) ワーク・ライフ・バランスの阻害要因（全校種、校種別）

ワーク・ライフ・バランスが「どちらかというと取れていない」又は「取れていない」と回答した者（R 7:391人）において、その阻害要因を尋ねた（複数回答可）。

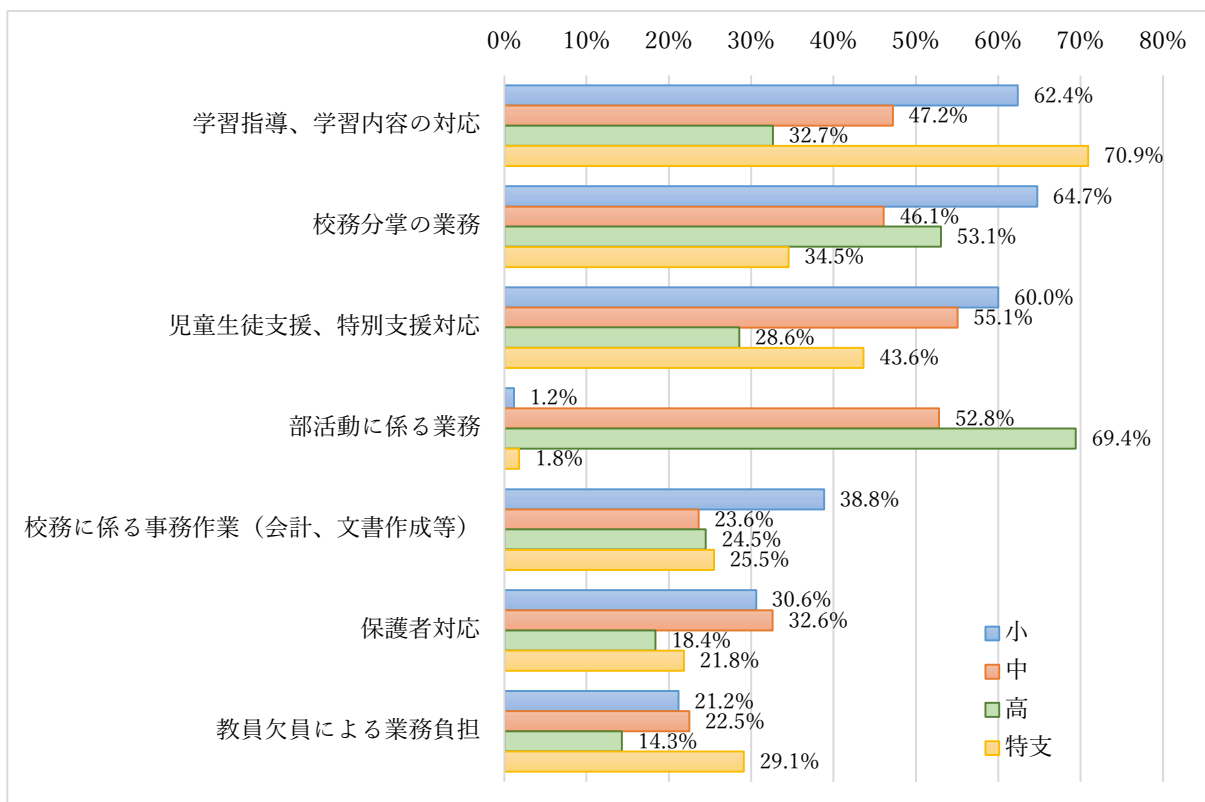
要 因	全校種割合		R 7 校種別（上位 5 位）			
	R 6	R 7	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
学習指導、学習内容の対応	②48.8%	①54.0%	②62.4%	③47.2%	③32.7%	①70.9%
校務分掌の業務	①49.1%	②50.7%	①64.7%	④46.1%	②53.1%	③34.5%
児童生徒支援、特別支援対応	③41.4%	③49.6%	③60.0%	①55.1%	④28.6%	②43.6%
部活動に係る業務	⑤29.9%	④29.9%		②52.8%	①69.4%	
校務に係る事務作業（会計、文書作成等）	④30.2%	⑤28.8%	④38.8%		⑤24.5%	⑤25.5%
保護者対応	⑥20.7%	⑥27.3%	⑤30.6%	⑤32.6%		
教員欠員による業務負担	⑦17.6%	⑦21.9%				④29.1%
ICT活用、タブレット端末等の対応	⑨12.8%	⑧17.6%				
教育委員会からの調査照会等業務	⑧13.6%	⑨15.1%				
私生活上の要因	⑩12.5%	⑩11.9%				
その他	⑪ 7.9%	⑪11.2%				
感染症に係る対応	⑫ 0.8%	⑫ 0.7%				

（注）丸数字は、全校種又は当該校種での順位

① 全校種における阻害要因割合

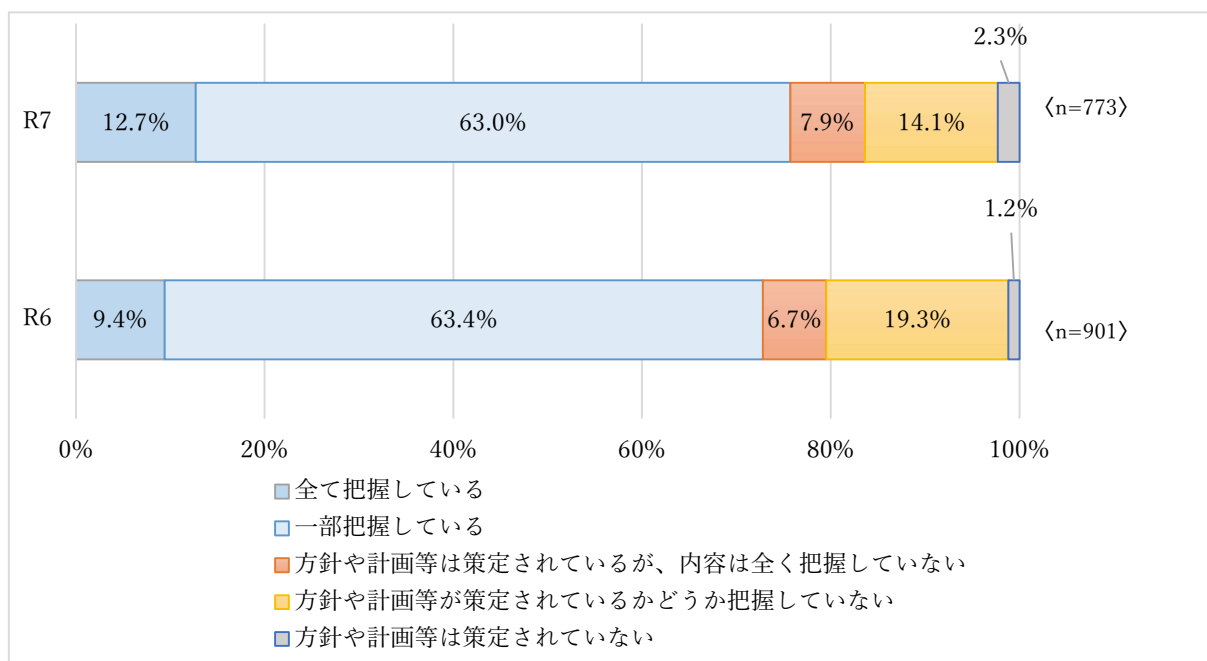


② 校種別阻害要因割合（校種別上位 5 位）



3 学校での働き方改革の取組状況について

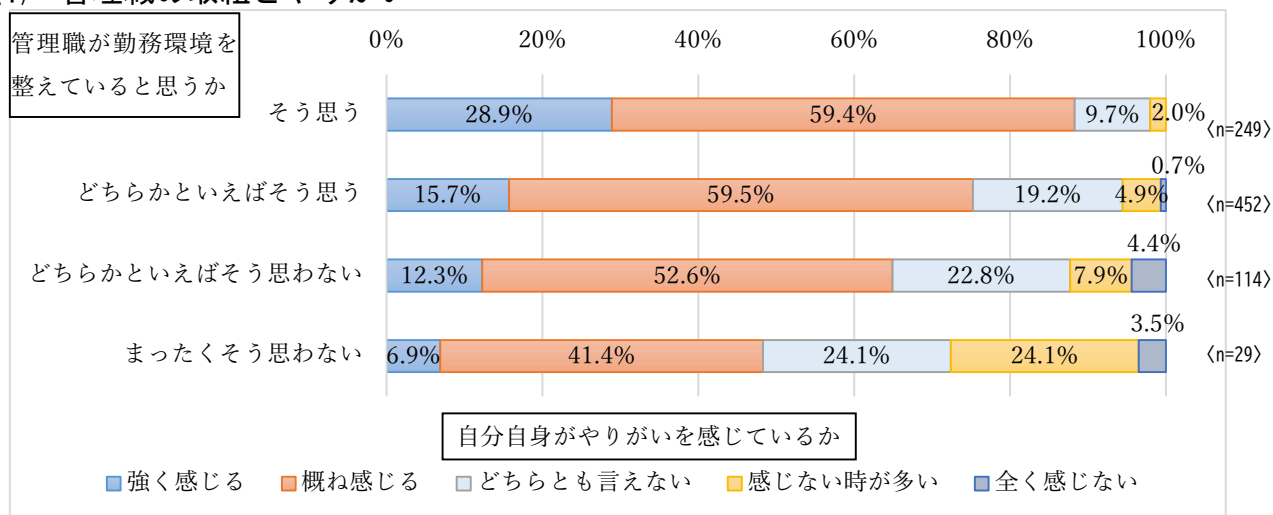
(1) 学校における計画等の内容の把握状況【校長、副校長・教頭を除く】



- 「所属する学校における時間外勤務の縮減や業務改善方針及び計画等の内容を把握しているか」という項目について、校長、教頭・副校長を除く、約22%の教職員が、学校での取組について把握していない状況にある。

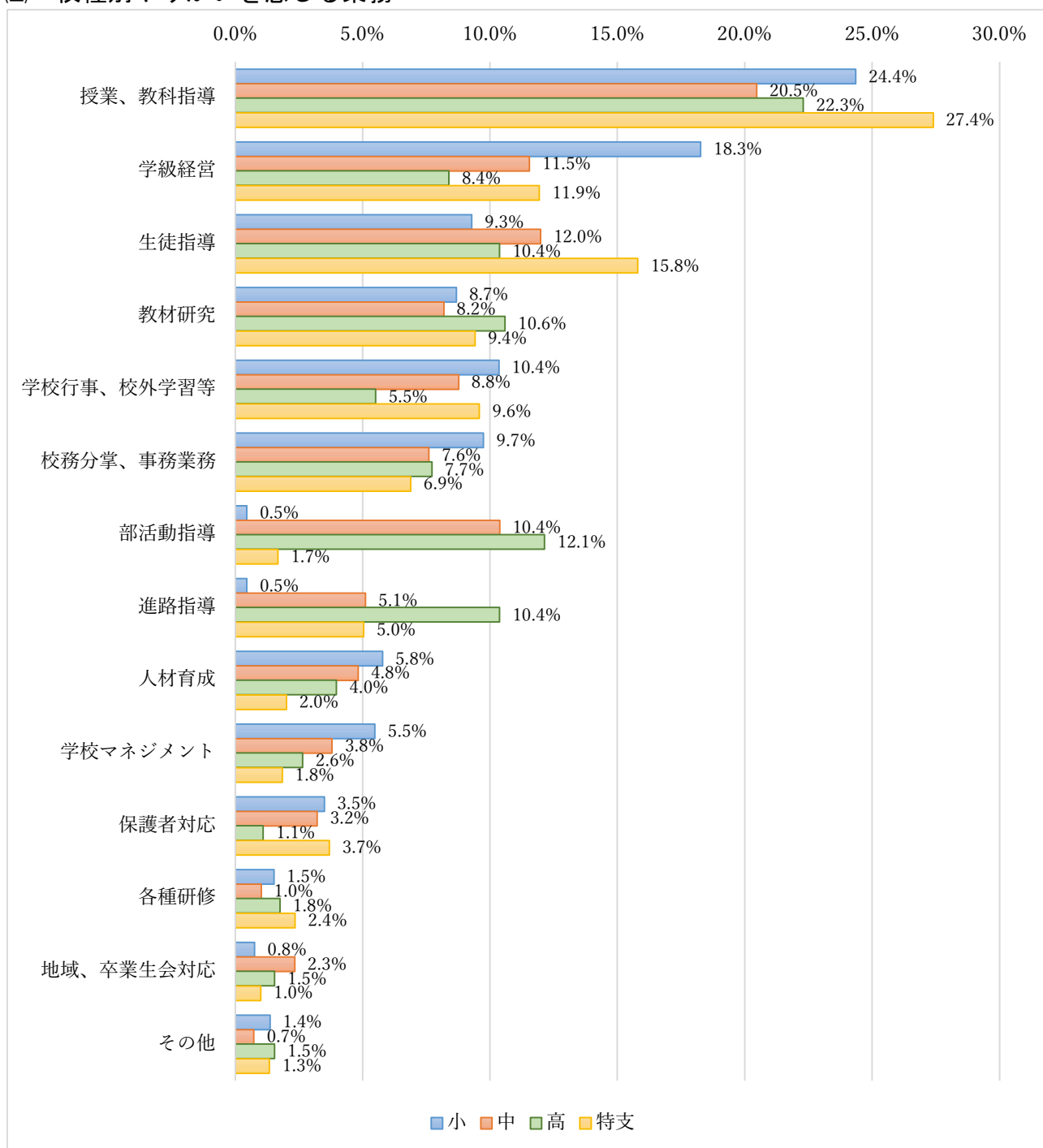
4 教職員の仕事のやりがい

(1) 管理職の取組とやりがい

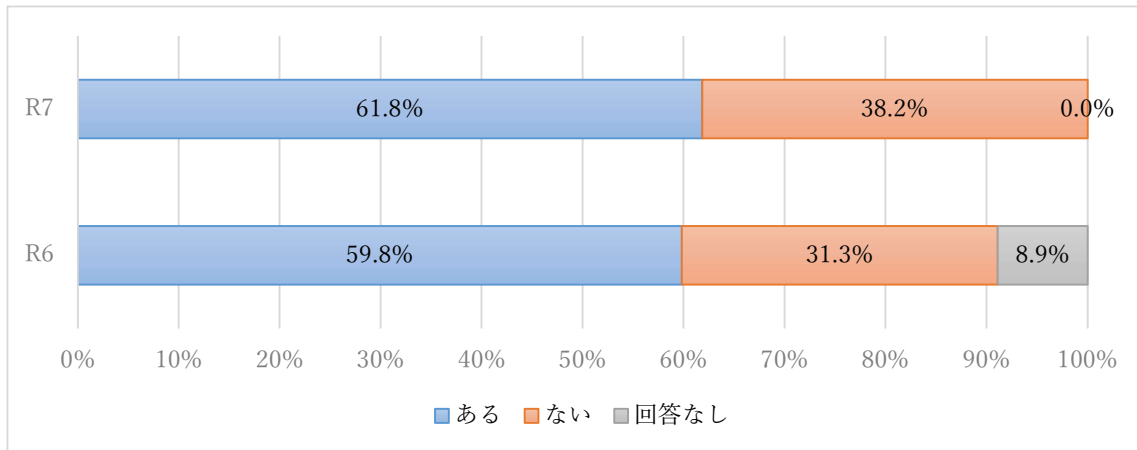


- 「学校の管理職は、リーダーシップを発揮して業務改善に取り組むなど、働き方改革を進め、教職員の勤務環境を整えていると思うか」という項目について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答している教職員の方が、教職員の仕事にやりがいを感じている割合が高くなる傾向にある。

(2) 校種別やりがいを感じる業務



(3) 学校の業務で、削減又は効率化できる業務の有無について



- 引き続き約6割の教職員が削減又は効率化できる業務があると回答している。

削減又は効率化できる主な業務（複数回答可）

【小学校】

	分類	回答割合	主な業務内容
1	行事に関すること	20.4%	休日に行われるPTA活動・奉仕活動、各種研究会、音楽会・陸上競技等大会、作品応募コンクール関係
2	校務に関すること	19.4%	起案・報告書類の削減、調査・統計・報告、日直、文書管理
3	学習指導に関すること	11.6%	授業時数、通知表、総合的な学習の時間等の事務
4	施設管理・清掃に関すること	9.1%	プール管理、安全点検、備品点検、ワックスがけ、校庭・樹木管理、戸締り、清掃
4	会議に関すること	9.1%	職員会議短縮・精選・ペーパーレス化、職員終礼

【中学校】

	分類	回答割合	主な業務内容
1	部活動に関すること	20.1%	地域移行・外部指導者、参加大会・部活動数の削減、活動時間、外部指導者の事務手続き
2	校務に関すること	18.9%	起案・報告書類の削減、配付文書等の電子化、校務支援システムの導入
3	行事に関すること	13.6%	各教科等の研究大会の縮小・廃止、PTA活動、地域活動、修学旅行・体育祭・文化祭等の縮小
4	会議に関すること	9.5%	職員会議の効率化・ペーパーレス化、職員朝礼
5	学習指導に関すること	8.3%	テスト作成・採点、総合的な学習の時間の簡素化

【高等学校】

	分類	回答割合	主な業務内容
1	校務に関すること	21.7%	地域連携、奨学金、進路指導に関する業務、時間割変更
2	部活動に関すること	19.6%	部活動数の精選、地域移行、活動時間、施設管理
3	学習指導に関すること	18.1%	カリキュラムの見直し、模試・補習等、定期試験と評価
4	行事に関すること	12.3%	学校行事の精選、休日の地域イベント等
5	会議に関すること	11.6%	会議の削減・オンライン化等、会議体の精選、職員朝礼、各種検討会

【特別支援学校】

	分類	回答割合	主な業務内容
1	校務に関すること	31.5%	生徒送迎の駐車場整理、稟議書類作成、手続き書類・手順が煩雑、復命書
2	会計に関すること	16.9%	生徒の個人会計、集金の催促、教材費などの管理・処理
3	学習指導に関すること	10.8%	授業資料の共有化、教材データの整理、
4	会議に関すること	9.5%	ペーパーレス化、会議の精選、リモート会議の実施
5	行事に関すること	5.9%	修学旅行の予約・手配、行事の精選・縮小化

Ⅱ 年次有給休暇取得状況

1 調査の概要

- (1) 市町村立小中学校については人事委員会事務局、
県立学校については教育委員会が調査
- (2) 対象期間：令和6年1月1日～令和6年12月31日（暦年）
- (3) 対象者：
 - ・ 県費負担教職員のうち正規職員のみで中途採用者を含む
 - ・ 市町村立小中学校は、教育職員、学校事務職員、栄養職員
 - ・ 県立学校は、教育職員のみ

2 働き方改革プラン数値目標

年次有給休暇の取得日数

- ・ 全ての教職員が年5日以上の取得
- ・ 全校種の平均13日以上の取得

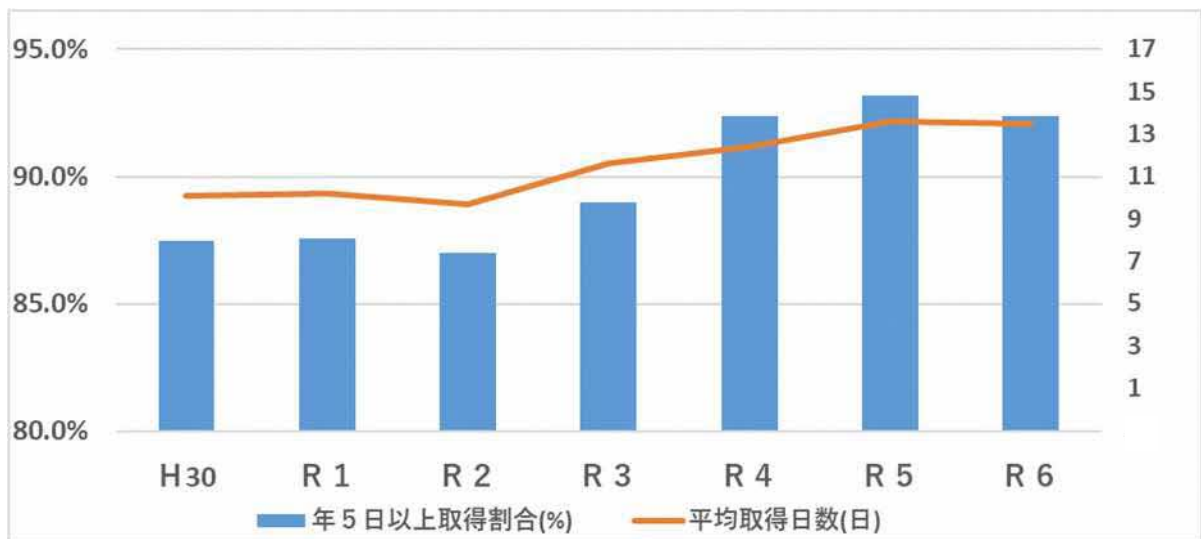
3 校種別取得状況

校 種	人 数（人）	年5日以上取得割合	平均取得日数（日）
小学校	2,884	93.2%	13.4
中学校	1,648	91.6%	13.0
高等学校	1,528	91.8%	13.9
特別支援学校	925	92.1%	14.0
全校種	6,985	92.4%	13.5

4 働き方改革プランの数値目標達成状況

暦 年	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
年5日以上取得割合	87.5%	87.6%	87.0%	89.0%	92.4%	93.2%	92.4%
平均取得日数（日）	10.1	10.2	9.7	11.6	12.4	13.6	13.5

※ H30～R 2の数値は抽出調査による



令和8年度島根県公立高等学校入学者選抜における特色選抜の出願状況について

- 1 出願期間
- 令和8年1月7日（水）～1月9日（金）
- 2 入学定員
- 4,933名（R7年度 5,043名） ※全日制のみ
※この入学定員の内数として、特色選抜の募集人員を設定

3 総合選抜

- (1) 募集高校・学科数 36校70学科（R7年度 36校 71学科）
※松江市立皆美が丘女子高校学科再編のため1学科減
- (2) 募集人員 1,722名程度（R7年度 1,717名程度）
※募集人員は当該学科の入学定員の40%（体育科は60%）程度までで各学校が定めている。
- (3) 選抜方法 書類審査、面接、学力検査等
※各高校が2つ以上の検査方法を指定して実施
- (4) 出願者数 2,631名（R7年度2,675名）

※過去の出願状況（令和6年度以前は推薦選抜）

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
募集高校数	30	33	34	35	36	36
募集人員(程度)	1,070	1,132	1,132	1,159	1,717	1,722
出願者数	851	892	904	872	2,675	2,631

※昨年度から大きな増減があった学校

高校名	学科名	R8年度 募集人員(程度)	R8年度 出願者数	昨年度 出願者数	増減
安来	普通	64	67	50	+17
情報科学	くくり募集	48	51	41	+10
松江南	探究科学	16	17	30	▲13
松江東	普通	80	144	157	▲13
松江商業	くくり募集	80	163	150	+13
松江農林	生物生産	16	41	29	+12
平田	普通	64	125	67	+58
出雲	普通	96	186	233	▲47
出雲工業	建築	16	43	32	+11
出雲農林	動物科学	16	37	24	+13
大社	体育	24	46	32	+14
大田	普通	24	70	48	+22
邇摩	総合学科	48	63	81	▲18
江津工業	機械・ロボット	16	7	23	▲16
	建築・電気	16	43	13	+30
浜田	普通	64	99	138	▲39
益田	普通	12	16	34	▲18
	理数	4	2	13	▲11
益田翔陽	総合学科	16	23	37	▲14
津和野	未来共創	32	46	76	▲30
隠岐島前	くくり募集	28	38	51	▲13
松江市立 皆美が丘女子	普通	36	47	36	+11

4 中高一貫教育校（連携型）特別選抜

- (1) 募集高校・学科 飯南高校・普通科、吉賀高校・普通科
- (2) 募集人員 飯南高校 募集人員は、入学定員内とし、特に定めない。
吉賀高校 20名程度
- (3) 選抜方法 書類審査、面接等
- (4) 出願者数 飯南高校 22名 (R7年度 19名)
吉賀高校 11名 (R7年度 11名)

5 スポーツ特別選抜

- (1) 募集高校 19校 (R7年度 19校)
- (2) 募集人員 176名 (R7年度 176名)
- (3) 選抜方法 書類審査、面接、実技等
※各高校が2つ以上の検査方法を指定して実施
- (4) 出願者数 102名 (R7年度 101名)

- 6 面接等の実施日 1月20日（火）～22日（木）のいずれかで各校が実施
※教育委員会作成の学力検査は21日（水）に一斉実施

- 7 合格内定通知 1月29日（木）各高等学校長から中学校等の校長へ通知

- 8 合格発表 3月13日（金）10時 一般選抜合格者とともに発表

令和8年度 島根県公立高等学校入学者選抜 総合選抜・中高一貫教育校(連携型)に係る入学者選抜・スポーツ特別選抜 出願者数(学校別)
全日制 島根県教育委員会 R8.1.13 15:00現在

学校名	学科名	学級数	入学定員	身元引受人による 県外受検生の 合格者数上限				特色選抜出願者数												面接等実施日	学科名	学校名	
				総合選抜				中高一貫 特別選抜				スポーツ特別選抜				合 計 f=g+d+e							
				定員に対する割合 ※1	人数	募集人員 人数	出願者数 c	定員に対する割合 ※1	人数	募集人員 人数	出願者数 d	定員に対する割合 ※1	人数	募集人員 人数	出願者数 e								
a	b	a	b	c	d	e	f=g+d+e																
情報科学	普通	4	160	20%	32	40%	64	67	2				12	12	12	1	79	1月21日	普通	安 奈			
	情報システム	1	120	5%	6	40%	48	51	0								51	1月20日	情報システム	情報科学			
	情報処理	1																				情報処理	
	マルチメディア	1																					マルチメディア
松江北	普通	5	200		※2	10%	20	11	0								11	1月21日	普通	松江北			
	理数	1			10%	4	8	0								8	理数						
	計	6	240			24	19	0								19	計						
	計	6	240			24	19	0									計						
松江南	普通	5	200		※2	16%	32	62	0				4	4	6	0	68	1月21日	普通	松江南			
	探究科学	1			40%	16	17	1						0	0	17	探究科学						
	計	6	240			48	79	1					4	4	6	0	85		計				
	計	6	240			48	79	1					4	4	6	0	85		計				
松江東	普通	5	200		※2	40%	80	144	0				12	4	11	2	155	1月21日	普通	松江東			
	機械	1			40%	16	18	0						3	2	21	機械						
	電子機械	1			40%	16	23	0						3	0	26	電子機械						
	電気電子工学	1			40%	16	18	0						2	18	20	電気電子工学						
松江工業	情報システム	1	40		※2	40%	16	15	0				12	4	2	0	15	1月20・21日	情報システム	松江工業			
	建築都市工学	1			40%	16	17	0						0	0	17	建築都市工学						
	計	5	200			80	91	1					12	4	8	2	99		計				
	計	5	200			80	91	1					12	4	8	2	99		計				
松江商業	商業	3	200	※2	40%	80	163	0	0				12	4	11	1	174	1月21日	商業	松江商業			
	国際ビジネス	1																					国際ビジネス
	情報処理	1																					
	計	5	200			80	163	0					12	4	11	1	174		計				
松江農林	生物生産	1	40		※2	40%	16	41	0								41	1月21日	生物生産	松江農林			
	環境土木	1			40%	16	19	0									19		環境土木				
	総合学科	2	80			40%	32	71	0								71		総合学科				
	計	4	160			44	137	0									137		計				
大 東	普通	3	90	10%	※3	9	40%	36	43	3			4	4	1	0	44	1月21日	普通	大 東			
	普通	3	90	20%	※3	18	40%	36	18	7			8	8	8	7	26	1月21日	普通		大 東		
	総合学科	4	160	8%	※3	12	40%	64	65	0			8	8	7	5	72	1月21日	総合学科			大 東	
	計	10	240			30	15%	6	8	0							8	1月21日	普通				掛 合
飯 南	普通	2	80	15%	12	30%	24	34	8	※4	22						56	1月21日(総合)・22日(中高)	普通	飯 南			
	普通	4	160		※2	40%	64	125	0				8	4	8	1	133	1月21日	普通		平 田		
	普通	6	240			40%	96	186	0				8	2	0	0	186	普通					
	理数	1	40		※2	40%	16	31	0					2	0	0	31	理数					
出 雲	計	7	280			112	217	0					8	2	0	0	217	1月21日	計	出 雲			
	機械	1	40		※2	40%	16	24	0						1	0	25	機械					
	電気	1	40			40%	16	31	0				12	0	0	0	31	電気					
	電子機械	1	40			40%	16	43	0						2	0	45	電子機械					
出雲工業	建築	1	40			40%	16	43	0						2	0	45	1月21日	建築	出雲工業			
	計	4	160			64	129	0					12	0	3	0	132	計					
	商業	3	120		※2	40%	48	71	0								71	商業					
	情報処理	1	40			40%	16	26	0								26	情報処理					
出雲商業	計	4	160			64	97	0									97	1月21日	計	出雲商業			
	植物科学	1	40			40%	16	28	0						0	0	28	植物科学					
	環境科学	1	40			40%	16	24	0				12	2	5	0	29	環境科学					
	食品科学	1	40			40%	16	30	0						0	0	31	食品科学					
出雲農林	動物科学	1	40			40%	16	37	0						3	0	38	1月21日	動物科学	出雲農林			
	計	4	160			64	119	1					12	2	7	0	126	計					
	普通	5	200		※2	25%	52	120	0						9	2	129	普通					
	体育	1	40			60%	24	46	2				12	4	2	0	48	1月21日	体育		大 社		
計	6	240			74	166	2					12	4	11	2	177	計						
大 田	普通	3	120	4%	4	20%	24	70	0								70	普通	大 田				
	理数	1	40	10%	4	20%	8	11	0								11	理数					
	計	4	160			8	32	81	0								81	計					
	総合学科	3	120	8%	9	40%	48	63	0									63		1月21日	総合学科	道 摩	
島根中央	普通	3	105	39%	40	40%	42	58	19				8	8	4	4	62	1月21日	普通	島根中央			
	普通	2	72	22%	15	40%	28	38	5								38	普通					
	産業技術	1	36	35%	12	40%	16	27	1								27	産業技術					
	計	3	108			27	32	65	14								65	計					
江 津	普通	2	80	10%	8	40%	16	29	2				12	8	2	0	31	1月20日(3学科)・21日(総合)	普通	江 津			
	機械・ロボ・IT	1	40	10%	4	40%	16	7	0						0	0	7	機械・ロボ・IT					
	建築・電気	1	40	10%	4	40%	16	43	0				4	4	0	0	43	建築・電気					
	計	2	80			8	32	50	0					4	4	0	0	50	計				
江津工業	普通	4	160	10%	16	40%	64	99	3				8	2	0	0	99	1月21日	普通	江津工業			
	理数	1	40	10%	4	40%	16	11	1				8	2	0	0	11	理数					
	計	5	200			20	80	110	4				8	2	0	0	110	計					
	商業	1	80	10%	8	40%	32	46	0								46	商業					
浜田商業	情報処理	1	40			40%	16	23	0								23	1月21日	情報処理	浜田商業			
	計	2	80			8	32	46	0								46	計					
	海洋技術	1	40	35%	14	40%	16	23	2								25	海洋技術					
	食品流通	1	40	35%	16	40%	16	10	2								10	食品流通					
浜田水産	計	2	80			28	32	35	11								35	1月21日	計	浜田水産			
	普通	3	120	10%	12	10%	12	16	0								16	普通					
	理数	1	40	10%	4	10%	4	2	0								2	理数					
	計	4	160			16	16	18	0								18	計					
益 田	電子機械	1	40	10%	4	40%	16	19	0								19	1月21日	電子機械	益 田			
	電 気	1	40	10%	4	40%	16	23	0								23	電 気					
	生物環境工学	1	40	10%	4	40%	16	29	0								29	生物環境工学					
	総合学科	1	40	10%	4	40%	16	23	0								23	総合学科					
益田翔陽	計	4	160			16	64	94	0								94	1月21日	計	益田翔陽			
	普通	1	40	40%	16	40%	16	46	23	20	11						46	普通					
	未来共創	2	80	35%	28	40%	32	46	23	46	23	46					46	未来共創					
	普通	2	80	20%	12	40%	24	24	2								24	普通					
隠 岐	商業	3	90	14%	4	20%	6	7	0								7	1月21日	商業	隠 岐			
	計	3	90			16	30	31	2								31	計					
	普通	1	40			40%	16	19	0				8	8	1	1	39	普通					
	地域共創	1	80	35%	28	35%	28	38	34				8	8	1	1	39	地域共創					
隠岐島前	計	2	80			28	28	38	34				8	8	1	1	39	1月21・22日	計	隠岐島前			
	海洋システム	1	40	50%	※3	20	40%	16	24	15			12	12	1	1	25	海洋システム					
	海洋生産	1	40	50%	※3	20	40%	16	13	3					1	0	14	海洋生産					
	計	2	80			40	32	37	18				12	12	2	1	39	計					
松江市立 菟美が丘女子	普通	3	90		※2	40%	36	47	2				33	176	102	27	2,719	1月21日	普通	松江市立 菟美が丘女子			
	普通	3	90			40%	36	47	2				33	176	102	27	2,766	計					
	普通	3	90			40%	36	47	2				33	176	102	27	2,766	普通					
	計	127	4,933			1,722	2,631	156				33	176	102	27	2,766	計						

令和8年度島根県立高等学校スポーツ特別選抜 出願者数(学校別)

No.1

全日制				島根県教育委員会 出願者数									
学校名	学科名	学級数	入学定員	フェンシング 男子	フェンシング 女子	バレー 男子	バレー 女子						合計
安 来	普 通	4	160	5	1	2	4						12

学校名	学科名	学級数	入学定員	ソフト テニス 女子								合計
松江南	普 通	5	200	6								6
	探究科学	1	40	0								0
	計	6	240	6								6

学校名	学科名	学級数	入学定員	ローイング 男子	ローイング 女子	バスケット 男子	アーチェリー 男子	アーチェリー 女子				合計
松 江 東	普 通	5	200	0	0	11	0	0				11

学校名	学科名	学級数	入学定員	レスリ ング 男子	バレー 男子	ソフト テニス 男子						合計
松江工業	機 械	1	40	0	0	3						3
	電子機械	1	40	0	1	2						3
	電気電子工学	1	40	0	1	1						2
	情報クリエイター学	1	40	0	0	0						0
	建築都市工学	1	40	0	0	0						0
	計	5	200	0	2	6						8

学校名	学科名	学級数	入学定員	バドミ ント ン 女子	サッ カー 女子	バス ケッ ト 女子						合計
松江商業	商 業	3	200									
	国際ビジネス	1		2	3	6						11
	情報処理	1										
	計	5	200	2	3	6						11

学校名	学科名	学級数	入学定員	ビーチ バレー 男子								合計
大 東	普 通	3	90	1								1

学校名	学科名	学級数	入学定員	ホッ ケー 男子	ホッ ケー 女子							合計
横 田	普 通	3	90	7	1							8

学校名	学科名	学級数	入学定員	ソフト ボール 男子	ソフト ボール 女子							合計
三刀屋	総合学科	4	160	3	4							7

学校名	学科名	学級数	入学定員	柔道 男子	柔道 女子							合計
平 田	普 通	4	160	5	3							8

学校名	学科名	学級数	入学定員	弓道 男子	弓道 女子							合計
出 雲	普 通	6	240	0	0							0
	理 数	1	40	0	0							0
	計	7	280	0	0							0

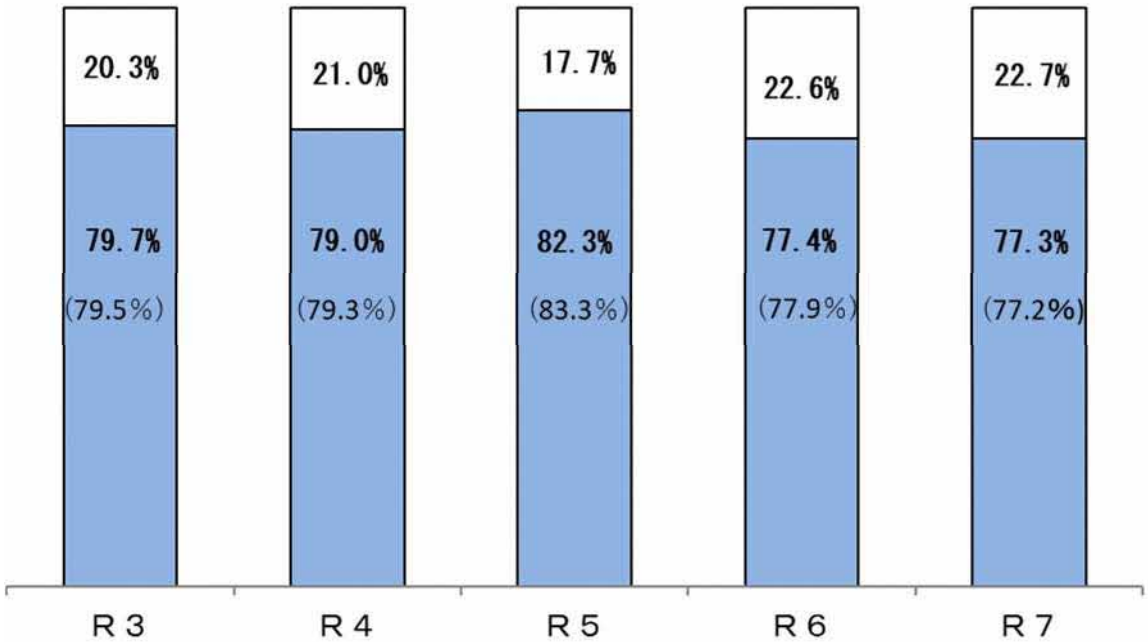
計	出願者合計	102
---	-------	-----

令和 8 年 3 月高校卒業予定者の就職内定状況（12 月末）について
（県立、市立及び私立の全日制並びに県立の定時制）

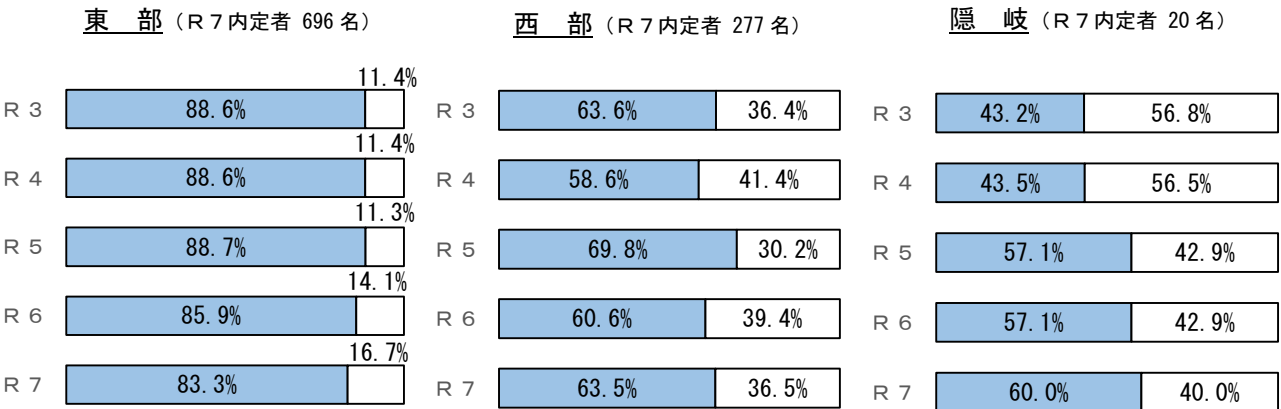
1 就職内定状況の年度別推移

年度	卒業予定者数 (人)	就職希望者数(人)			就職希望者の 割合	就職内定者数(人)			内定率	就職未内定者数(人)		
		県内	県外	小計		県内	県外	小計		県内	県外	小計
R 3	5,596	909	238	1,147	20.5%	866	220	1,086	94.7%	43	18	61
R 4	5,537	882	233	1,115	20.1%	830	221	1,051	94.3%	52	12	64
R 5	5,271	885	192	1,077	20.4%	847	182	1,029	95.5%	38	10	48
R 6	5,377	837	249	1,086	20.2%	789	231	1,020	93.9%	48	18	66
R 7	5,350	851	238	1,089	20.4%	768	225	993	91.2%	83	13	96

2 就職内定者の県内、県外の割合（■ 県内 □ 県外）
（ ）は県立高校における割合



3 就職内定者の高校所在地域別の県内、県外の割合（■ 県内 □ 県外）



報告第 64 号

社会教育課

社会教育関係文部科学大臣表彰について

社会教育関係文部科学大臣表彰が以下のとおり決定したので報告する。

- 1 第 78 回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）について

別紙 1

- 2 令和 7 年度優良 P T A 文部科学大臣表彰について

別紙 2

第 78 回優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）について

1 趣旨

公民館やその他公民館と同等の社会教育活動を行う施設のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらした活動を行い、その活動成果を生かして、人づくり・まちづくり・地域づくりに大きく貢献しているものを優良公民館として文部科学大臣が表彰し、今後の公民館活動の充実・振興に資する。

2 被表彰公民館

優秀館

益田市^{やすだ}安田公民館

3 主な表彰理由

- ・ 公民館主導ではなく、地域住民の思いをコーディネートした事業の実現がなされており、公民館が地域住民に寄り添いながら、自主性を尊重しつつ伴走支援を行っている。
- ・ 地域住民のニーズ把握や、小中高校生などの子どもたちの“やりたい”を実現することで、地域の次世代を担う人づくりに力を入れている。
- ・ また、多くの関係団体と連携・協働を行うことで、多様な世代や多くの地域住民を巻き込んだ事業の展開や、SNSを利用した事業や講座についての情報発信を積極的に行い、公民館の利用者の増加につなげている。

4 表彰式

(1) 日 時 令和 8 年 2 月 6 日（金）10:30～11:00

(2) 開催場所 文部科学省東館 3 階 第一講堂（東京都千代田区霞が関 3-2-2）

令和 7 年度 優良 P T A 文部科学大臣表彰について

1 趣旨

P T A の本来の目的・性格に照らし、優秀な実績を上げている P T A を表彰し、P T A の健全な育成、発展に資することを目的とする。

2 被表彰団体

大田市立第一中学校 P T A

3 主な表彰理由

- ・ P T A 組織の改革並びに発展のため、啓発や研修などを積極的に実施するとともに、コロナ禍においては、オンラインやオンデマンドによる研修を積極的に実施し、P T A 活動の活性化に尽力した。
- ・ 学校運営協議会には、P T A 会長と副会長が委員として参画し、協議会のメンバーとなっている町内会の代表者等と連携し、P T A 活動の周知や協力依頼を行っている。また、地元企業や地域で働く大人との交流企画を P T A として支援するなど、学校・地域との関わりを大切にしながら P T A 活動を展開している。
- ・ また、保護者同士の子育てなど家庭教育についての悩みを話し合う交流会やアンガーマネジメント研修、ヤングケアラー勉強会、ケガの予防等に関する研修、応急手当講習など、会員相互の学びに関する活動を精力的に行ってきた。

4 表彰式

- (1) 日 時 令和 8 年 2 月 6 日 (金) 10:30～11:00
- (2) 開催場所 文部科学省東館 3 階 第一講堂 (東京都千代田区霞が関 3-2-2)

報告第 65 号
文 化 財 課

島根県文化財保護審議会委員の任命について

島根県文化財保護審議会委員の任期が令和 8 年 1 月 19 日で満了になったため、島根県文化財保護審議会条例（昭和 50 年島根県条例第 58 号）第 4 条の規定に基づき、新たな委員を下記のとおり任命した。

1 委員の氏名等

別添名簿のとおり

2 委員の任期

令和 8 年 1 月 20 日から令和 10 年 1 月 19 日までの 2 年間

3 委嘱状の発令日

令和 8 年 1 月 20 日

4 委員構成

- (1) 男 女 別 : 男性 8 名、女性 8 名
- (2) 地 域 別 : 東部 4 名、西部 1 名、隠岐 1 名、県外 10 名
- (3) 新任・再任の別 : 新任 5 名、再任 11 名

〈参 考〉

島根県文化財保護審議会条例（一部抜粋）

（設置）

第 1 条 文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）第 190 条第 1 項の規定に基づき、教育委員会に島根県文化財保護審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（所掌事務）

第 2 条 審議会は、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

（組織）

第 3 条 審議会は、委員 20 人以内で組織する。

2 特別の事項を調査審議するために必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

（任命）

第 4 条 委員及び臨時委員は、学識経験を有する者又は関係行政機関の職員のうちから教育委員会が任命する。

（任期）

第 5 条 委員の任期は、2 年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

島根県文化財保護審議会委員名簿

任期: 令和8年1月20日～令和10年1月19日

氏名	専門分野	役 職 等	備考
荒木 菜見子	建造物・史跡	米子工業高等専門学校講師	新任
林 良彦	建造物・史跡	元奈良文化財研究所文化遺産部長	
多田羅 多起子	絵画・工芸品	広島大学大学院人間社会科学研究科准教授	
三好 賢子	彫刻・絵画	香川県立ミュージアム学芸課長	新任
佐藤 信	書跡典籍古文書・歴史資料(古代)	東京大学名誉教授	
長谷川 博史	書跡典籍古文書・歴史資料(中世)	島根大学教育学部教授	
岩城 卓二	書跡典籍古文書・歴史資料(近世)	京都大学人文科学研究所教授	
近藤 都代子	無形文化財・工芸品	元文化庁主任文化財調査官	
笹原 亮二	芸能・民俗文化財	国立民族学博物館名誉教授	
會下 和宏	考古資料・史跡	島根大学総合博物館教授	
中島 義晴	名勝・庭園	奈良文化財研究所文化遺産部上席研究員	
陶山 大志	植物	島根県中山間地域研究センター専門研究員	新任
永嶋 真理子	地質鉱物	山口大学大学院創成科学研究科教授	
中村 和可子	有識者	株式会社メディアスコープ取締役専務	
松村 聡子	有識者	一般社団法人津和野町観光協会事務局次長	新任
松井 円	有識者	一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構主任	新任

敬称略

男女別：男性8名、女性8名